終業式での児童代表発表より・・・ 紙面の都合上,一部略してあります。

【2年 堀米 愛 さん】 『早くコロナがおわってほしい』

4月になっても、学校ははじまりませんでした。わたしは、早く学校に行きたいと思いました。学校に新しい教科書をもらいに行きました。「2年生になったんだな。」と、その時思いました。家で国語の音読や入学式で発表する"かんげいことば"の練習をしました。家にいる時は、「学校で勉強したいな。みんなで質問したり、書いたりしたいな。」と思いました。

20日の入学式では、1年生に鍵盤ハーモニカの演奏と"かんげいのことば"をプレゼントしました。「わからないことがあったら、私たちがおしえてあげるんだ」と思いました。

5月11日,やっと学校がはじまりました。次の日から給食もはじまりました。ひさしぶりに食べる給食は、とてもおいしかったです。でも、学校では、いつもマスクを着けていなくてはなりません。息が苦しいけど、やらなくてはならないので大変です。体育もしていけないものもあります。勉強している時は、友だちとはなれていなければならないけど、夢中になると近づいてしまうことがあってむずかしいです。

うれしいこともたくさんありました。算数でくり上がりやくり下がりのある計算ができるようになりました。漢字ドリルを書いていたら,夏芽ちゃんが,「愛ちゃん,字がきれいだね。」とほめてくれました。生活科で世話しているカタツムリが,たまごをうみました。早く赤ちゃんがうまれてほしいです。

早くコロナがなくなって、マスクをしないで勉強したり、遊んだりしたいです。

【4年 竹屋 奏汰 さん】 『一学期がんばったこと』

一学期がんばったことの中から四つ発表します。

一つ目は、早起きをすることです。なぜ、早起きするかというと、朝ご飯をたくさん食べる ためです。早起きをする前は、お腹が空いていなくて全部食べられませんでした。でも、早起 きをするようになって、前より朝ご飯をいっぱい食べられるようになりました。

二つ目は、習字です。2年生の5月ぐらいから習い始めて、それから2年間続けています。 3年生の時は、硬筆が二段で、習字が優級甲でした。あと一回合格すると初段になれます。

三つ目は、漢字の勉強です。ぼくは、漢字を覚えるのが苦手なので、ていねいに書いてしっかり覚えられるようにがんばりました。

四つ目は、ふるさとを良く知るために、紅花つみや、豆の栽培をがんばりました。紅花つみは三回しました。卒業式で、6年生が紅花ぞめのハンカチーフをつけて、かっこよく卒業してほしいと思って、がんばって紅花をつみました。紅花ぞめの習字を見るのも楽しみです。

河北町は秘伝豆のおいしい産地です。ぼくたちは「かおり豆」と「岩手みどり」など八種類の豆を育てています。どんな味なのか楽しみです。お家の人にも食べさせてあげたいです。

【8月の主な行事予定】

20日(木) 2学期始業式 3校時限 一斉下校 給食なし

21日(金)給食開始

P T A保体整備部会 19:00

24日(月)避難訓練(地震)

25日(火)子ども文庫 5校時限

26日(水)3年社会科見学(JA集荷場・ひな直売)

27日(木)5校時限

28日(金)5校時限

31日(月) 耳鼻科検診(1, 2, 5年ほか)

学校通信



河北町立谷地西部小学校

令和 2年7月31日 No. 266 電話 71-1108

教育目標 笑顔いっぱい ひとみ輝く 西部っ子

自分たちの西部小を自分たちで考える機会に

令和2年度1学期 ~58日間をふりかえって~

校長 丹野 宏紀

7月31日(金) 1学期58日間が終了しました。この間、保護者、地域の皆さまには、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のもと、臨時休校並びに学校行事の中止・変更など、多岐に渡りご理解とご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。子どもたちは、明日から8月19日(水)まで19日間の夏休みを迎えます。例年より日数も短く、様々な制約のある中での夏休みとなりますが、子どもたち一人一人にとって「うれしかった夏休み」になりますよう、ご家庭地域においてのご支援をよろしくお願いいたします。

令和2年度は、今まで誰もが経験したことのない中で4月を迎えることとなりました。4月8日(水)に予定していた入学式は、4月20日(月)に延期され、本格的な教育活動の開始は、本校の創立記念日である5月11日(月)となりました。

学校が再開してすぐに、子どもたちに「生活アンケート」を行いました。同時に、子ども一人一人の様子を適切に把握するために、担任と子どもによる個人面談も実施しました。子どもたちの多くは「学校が再開することを楽しみにしていた。」と答えてくれました。ただ、中には、「ずっと家にいたので少し不安な気持ちもある。」と答えた子もいました。本格的学習を開始するにあたっては、「学校生活に徐々に慣れさせ、毎日の授業を通して子どもたちを元気にしていく。」ことを学校の一番のめあてとして令和2年度の西部小をスタートさせました。

幸いなことに、1学期を振り返ってみて、体調を崩して学校を休む子、保健室に駆け込む姿はほとんど見られませんでした。日を追うにつれ、休み時間にグラウンドに出て元気に遊ぶ姿やバッタやちょうちょを追い回す元気な光景が見られました。先日、5・6年生は「今年の運動会、応援合戦をどうするか」について考えました。「昨年までとは同じにはできない。」「コロナの中で

全校生の安全を守りつつ、しかも盛り上がる運動会にするにはどうすればよいか。」この課題に対して「これが正解」という答えはありません。全員で知恵を出し合い目的に向かって話し合う過程の中で、今までの運動会では考えられなかったアイディアが生まれると思います。

今の状況を変えることはできませんが、考えを出し合 うことで自分たちの西部小を更に良くすることはできま す。自分たちの西部小を自分たちで考える子どもたちに 育ってほしいと思います。



「なぜ? どうして?」が行き交う45分間 精一杯学び合う5・6年生 7/15授業研究会

7月15日(水),村山教育事務所:村田 紳主任指導主事,授業改善アドバイザー:荒木たか子氏のお二人を助言者にお迎えし,本年度2回目の授業研究会『第5学年算数【整数の性質を調べよう】第6学年算数【割合の表し方を調べよう】指導者:村山智香教諭』を開催しました。

本校は、令和2年度の授業改善のポイントとして<u>"複式指導の原点に帰る"</u>ことを挙げています。 複式学級では、一方の学年に担任が関わっている時間(直接指導)は、他の学年は**自分たちのみで学習する**時間(間接指導)となります。6月の学校通信でも触れましたが、西部小でめざす【たくましい学び】は、(指導者が一方的に教え込む学習ではない)自分たちで課題に向かい、協働しながら解決していく探究的な学習です。そのためには、低学年では、しっかりとした学習規律やルールを身につけ、中学年では、低学年で身につけた力をもとにある程度自分たちで複式の学習が進められるようにし、そして、高学年へとつなげていくことが大切です。

15日の授業研究会では、「ここどうやった? ぼく、ここからわからなかったんだけど…」というような「なぜ? どうして?」の言葉が行き交う、高学年でめざす学習の様子が見られました。 互いに学び合いながら、「あっ、そうか、こうやればいいんだ!」と納得し、また新たな問いや解き 方に挑戦し続けるたくましい子どもたちに育ってきたこと、とてもうれしく思います。



伝統の紅花摘み・紅餅つくり

7月3日(金),今年の紅花摘みが始まりました。今年も校舎西側の畑(鈴木茂夫さん所有)をお借りして、紅花を栽培しています。3日は、先陣をきって3・4年生が朝露に濡れる紅花を一つずつ丁寧に摘み取ってくれました。今年も、学級ごとに1週間かけて紅花の花びらを摘み取りました。【紅花の里】にふさわしい光景の中、37名の子どもたちは、露に濡れながらも爽やかな汗を流しました。摘まれた紅花は、5・6年生が力を合わせて紅餅にしてくれました。

そして3月,紅染めのハンカチーフや和紙となって, 卒業式間近の西部小を彩ってくれることと思います。

- ~2年生の感想より~
- ・とげとげでいたかったです。つまんだあ との花のにおいをかぎました。りんごの ようなにおいでした。



幼稚園・子ども園・小学校連絡会

7月10日(金),幼稚園・子ども園・小学校連絡協議会を行いました。1年生の授業参観では今,国語で学習している『大きなかぶ』を劇化して発表することができました。また、二つの文を一つの文にする学習では、くっつきの「へ」や「を」を上手に使いながら短文を作ることができました。参観の先生方にたくさんほめていただき、うれしそうな1年生でした。



「早く読みたいな」図書見本市

7月16日(木),図書見本市を行いました。書店よりたくさんの本(見本)を持って来ていただき、全校生一人一人、自分の読みたい本を注文しました。中には、『万葉集』を選んだ子もいました。新しく購入した本は、学習センター(図書館)に置き、全校生が読めるようにします。

